B

おぼえておきたい基本操作

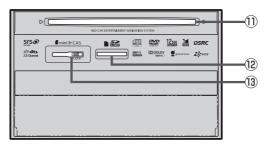
各部の名称とはたらき

パネル部CLOSE状態

HS511D-W

パネル部OPEN状態

HS511D-A

HS511D-W

① [▲] ボタン(OPEN)
- ディスク／SDカード／miniB-CASカードの出し入れやディスプレイの角度調整をするときに押します。
  ☞ B-4、B-5、B-6
- 長押しすると自動でディスクが押し出されます。
  ☞ B-5

② [電話] ボタン(電話)
ハンズフリー MENU画面を表示します。
☞ 別冊のオリジナルマルチシステム M-2

③ [⏮ ⏭] ボタン／[⏮] [⏭] ボタン
オーディオ操作で好きなトラックや放送局を選んだり、早送り／早戻しをすることができます。
☞ 別冊のオリジナルマルチシステム A-3

④ [AV] ボタン
AV SOURCE画面または選択中のオーディオ画面を表示します。☞ I-6

⑤ [メニュー] ボタン
- NAVI MENU画面を表示します。
  ☞ B-16
- 長押しすると画質調整画面を表示します。
  ☞ I-2

⑥ [現在地] ボタン
現在地の地図を表示します。☞ B-10

⑦ [－ 音量 ＋] ボタン／[音量] ツマミ
オーディオの音量を調整します。
☞ 別冊のオリジナルマルチシステム A-18

⑧ [⏻] ボタン／[PUSH AV OFF] ボタン
- AV電源をON／OFFするときに使用します。
  ☞ I-5
- 2秒以上長押しで画面を消します。☞ I-4

⑨ [✱] ボタン(オプション)
- オプションボタン設定画面で選択した機能の操作をします。☞ H-2
- サイドブラインドモニター映像画面を表示します。
  ☞ H-7

⑩ リモコン受光部

⑪ ディスク挿入口 ☞ B-5

⑫ SDカード挿入口 ☞ B-6

⑬ miniB-CASカード挿入口
☞ 別冊のオリジナルマルチシステム A-8

⑭ AUX端子☆
市販のポータブルオーディオ機器を接続します。
☞ 別冊のオリジナルマルチシステム L-3

⑮ セキュリティインジケータ☆
セキュリティインジケータを“する”に設定すると、点滅します。☞ H-23

※オーディオに関するパネル部の説明につきましては☞ 別冊のオリジナルマルチシステム A-3をご覧ください。
☆印…HS511D-Wのみ

ボタンの照明について

車のライトをONにすると、本機のボタンの文字(音量)やボタン([AV]、[メニュー]、[現在地])、イラスト(▲、電話、⏮、⏭、＋、－、⏻、✱)が点灯します。

B-4 ディスプレイ部の角度調整する

角度調整をするときは手や指などをはさまないように注意してください。けがの原因や、ディスプレイ部の故障の原因になります。

1 ▲(OPEN)を押す。

：TILT／EJECT画面が表示されます。

---

2 ▲または▼をタッチする。

：▲をタッチすると、ディスプレイが一段階ずつ開きます。▼をタッチすると、ディスプレイが一段階ずつ閉じます。

アドバイス

- 見やすい角度に調整してください。（全５段階）
- 角度調整をしても車のキースイッチをOFFにすると、ディスプレイ部は自動で閉じ収納されますが、次回、車のキースイッチをACCまたはONにすると、前回角度調整した段階でディスプレイ部が開きます。

ディスクを入れる／取り出す

ディスプレイ部を開閉するときは手や指などをはさまないように注意してください。けがの原因や、ディスプレイ部の故障の原因になります。

⚠注意

- ディスクを挿入するときは、他のディスクが挿入されていないことを確認してから挿入してください。すでにディスクが挿入されていて2枚目を挿入しようとすると、ディスクにキズがつき故障の原因になります。
- ディスプレイ部を開けたまま走行しないでください。急ブレーキ時に開いたディスプレイ部に体が当ったり、思わぬけがをするおそれがあります。
- ディスクを出し入れするときには、安全のため、シフトレバーがディスプレイ部に当たらない位置で行なってください。

1 ▲（OPEN）を押す。

：TILT／EJECT画面が表示されます。

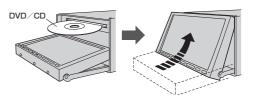
2

■ ディスクを入れる場合

① OPEN をタッチする。

：ディスプレイ部が開きます。

② ディスク挿入口にディスクを挿入する。

：自動でディスプレイ部が閉じます。

■ ディスクを取り出す場合

① DISC EJECT をタッチする。

：ディスプレイ部が開き、ディスクがディスク挿入口より自動で押し出されます。

※ディスプレイ部を閉じる時は ▲（OPEN）を押してください。

アドバイス

- ディスクを取り出したときは、自動でディスプレイ部は閉じません。
- 長時間DVD／CDを挿入していると、DVD／CDが温かくなっている場合がありますが故障ではありません。
- ディスクを挿入すると自動でディスクの再生がはじまります。
- CDを挿入すると自動で録音を開始する初期設定になっています。設定を変更するには別冊のオリジナルマルチシステムB-4をご覧ください。
- ディスクを取り出すとき、▲（OPEN）を長押しすると DISC EJECT をタッチすることなく自動で押し出されます。
- ディスプレイ部を開いたまま、車のキースイッチを「OFF」にした場合は、▲（OPEN）を押してディスプレイ部を閉じることができます。

B-6 SDカードを入れる／取り出す

ディスプレイ部を開閉するときは手や指などをはさまないように注意してください。けがの原因や、ディスプレイ部の故障の原因になります。

⚠注意

- ディスプレイ部を開けたまま走行しないでください。急ブレーキ時に開いたディスプレイ部に体が当ったり、思わぬけがをするおそれがあります。
- SDカードを出し入れするときには、安全のため、シフトレバーがディスプレイ部に当たらない位置で行なってください。
- SDカードには寿命があるため、長期間使用すると、書き込みや消去などができなくなる場合があります。
- miniSDカード／microSDカードを使用する場合は、必ずminiSDカードアダプター／microSDカードアダプターに装着してご使用ください。アダプターが装着されていない状態で本機に差し込むとminiSDカード／microSDカードが取り出せなくなったり機器の故障の原因になります。

1

▲(OPEN)を押す。

：TILT／EJECT画面が表示されます。

2

OPEN をタッチする。

：ディスプレイ部が開きます。

3

■ SDカードを入れる場合

① SDカード挿入口にSDカードを差し込む。

：自動でディスプレイ部が閉じます。

※ラベル面を上にして矢印の方向に“カチッ”と音がするまで差し込んでください。

■ SDカードを取り出す場合

① SDカードを１回押して取り出す。

※ディスプレイ部を閉じる時は▲(OPEN)を押してください。

アドバイス

- SDカードを取り出したときは、自動でディスプレイ部は閉じません。
- 長時間SDカードを挿入していると、SDカードが温かくなっている場合がありますが故障ではありません。

地図を表示する

1 車のキースイッチを「ACC」または「ON」に入れる。

：メッセージ画面が表示され、しばらくすると現在地の地図画面が表示されます。

起動初期画面

安全運転メッセージ

「あれ？画面がちがう…」
起動初期画面を表示した後、前回車のキースイッチを切ったときに表示していたモードの画面になります。
ナビゲーション画面にするには、
現在地 を押してください。

現在地表示画面

自車マーク

GPS受信表示
黄色：GPS衛星電波の受信状態が良い。
　　（GPSを使った測位ができる。）
灰色：GPS衛星電波の受信状態が悪い。
　　（GPSを使った測位ができない。）
※測位計算中も、灰色のままです。

アドバイス

- 画面の明るさを調整することができます。「映像の調整のしかた」I-2をご覧ください。
- 現在地表示画面の見かたについては、「現在地を表示する」B-10をご覧ください。
- GPS衛星電波が受信できない場合は、「GPS衛星の電波受信と測位」A-14をご覧ください。
- 安全運転メッセージ画面は時間帯によってメッセージ表示が異なります。
- 安全運転メッセージの表示を止める場合は、「安全運転メッセージの設定をする」H-39をご覧ください。

現在地表示について

- 本機では、GPS衛星からの電波を付属のGPSアンテナで受信することによって、現在地を測位します。
  実際の現在地を表示してルート案内をするためには、必ずGPSアンテナを接続し、GPS衛星の電波を受信してください。
  「GPS衛星の電波受信と測位」A-14
  「現在地を表示する」B-10

GPS受信表示

- **お買い上げ後、一度も現在地の測位ができていない場合は、日産自動車(株)グローバル本社付近を表示します。**

B-8 地図画面の見かた

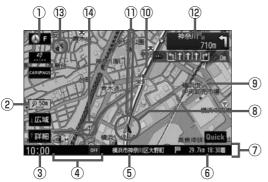
ナビゲーションシステムでは、操作するためのタッチボタンやいろいろな情報を地図画面に表示しています。

タッチパネル部について

① 方位 ボタン
地図表示(方位)を切り替えることができます。
☞ B-11

② VICSタイムスタンプ ボタン
- VICS情報が提供された時刻を示します。
☞ E-8
- 渋滞／規制地点を表示します。
☞ D-21

③ CARWINGS ボタン
カーウイングス情報センターに接続します。
☞ G-6

④ 広域 ／ 詳細 ボタン
地図のスケールを変更します。
☞ B-15

⑤ Quick ボタン
Quick MENUを表示します。
☞ B-20

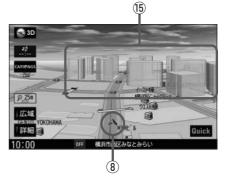
⑥ 戻る ボタン

⑦ 微調整 ボタン
スクロールの微調整をします。(平面地図のみ)
☞ B-14

⑧ 設定 ボタン
設定MENUを表示します。

画面の表示内容について

平面地図画面(例)

3D地図画面(例)

①GPS受信表示

B-7

現在地の測位の状態を色で示します。

黄色：現在地の測位ができている。

灰色：現在地の測位ができていない、
または測位計算中。

アドバイス

測位に時間がかかる場合があり、電源を入れてから約3～4分間はGPS受信表示が灰色のままのときがあります。

②縮尺スケール

地図のスケールを表示します。

B-15

③現在の時刻

④各種マーク表示

ETC：別売のETCユニットまたはDSRC車載器を接続し、ETCカードを挿入すると表示されます。

BT：本機にBluetooth対応の携帯電話を登録し、接続すると表示されます。

CD、DVD、FM、AM、SD、USB、iPod、TV、MST、AST、BT、VTR、AUX
：オーディオの各モード(CD、DVD、Radio、SD、USB／WALKMAN®、iPod、TV、MUSIC STOCKER、AV STOCKER、Bluetooth Audio、VTR、AUX☆)がONのときに表示されます。

OFF：オーディオの各モード(CD、DVD、Radio、SD、USB／WALKMAN®、iPod、TV、MUSIC STOCKER、AV STOCKER、Bluetooth Audio、VTR、AUX☆)がOFFのときに表示されます。

⑤周辺の住所(または道路名)・AUDIO情報

F-6

⑥目的地への残距離、到着予想時刻表示

ルート案内時に、目的地への残距離と到着予想時刻を示します。

⑦情報バー

⑧自車マーク

自分の車の位置(現在地)と進行方向を示します。

※設定により変更することができます。

F-26

☆印…HS511D-Wの場合

⑨道路

道路の種類を色で区別しています。

青　色：高速道路、有料道路

赤　色：国道

緑　色：主要地方道、県道

灰色(太線)：一般道、細街路

白色(細線)：細街路

青色：フェリー航路

アドバイス

道路色は“地図切り替え”で選択したボタンによって変わります。上記の色は“ 道路メイン ”を選択したときの色を記載しています。

「地図の色を設定する」F-5

※灰色(破線)はルート探索できません。

※市街地図(縮尺スケールが50m以下の地図)の場合、高速道路・有料道路以外は上記と異なる色で表示されます。

※建設中などで、地図ソフト作成時点で未開通の道路は計画道路として表示されます。

⑩設定ルート

ルート探索を行なうと、探索されたルート(おすすめルート)が黄色またはピンク(設定による)で表示されます。探索されたルート上の有料道路は青色で表示されます。

⑪目的地方向表示

ルート設定時赤い直線で目的地の方向を表示します。

⑫交差点情報表示

交差点の名称と曲がる方向を矢印で表示します。

※お客さまの設定によっては表示されません。

F-10

⑬盗難多発地点表示

盗難が多発している地点を色で区別し表示します。最も盗難の危険が高い場合は赤色、次に盗難の危険が高い場合は橙色、盗難の危険が低い場合は黄色で表示しています。(各府県によって基準は異なります。)

⑭事故多発地点表示

地図の縮尺スケールを50mまたは100mに設定した場合、事故が多く発生している場所にマークを表示します。

※縮尺スケールの50mは 50m(市街地図)ではありません。

⑮立体アイコン

特定の建物を立体的に示します。

B-10 現在地を表示する

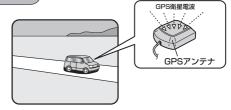
本機は、付属のGPSアンテナでGPS衛星からの電波を受信することによって現在地を測位し、マップマッチング機能と、車速パルスおよびジャイロセンサーを使った自律航法で、誤差を補正します。

現在地 を押す。

：現在地の地図が表示されます。

現在地表示画面

表示された現在地が実際の現在地と違う場合

GPS受信表示が黄色の状態(GPS衛星電波を受信した状態)で、電波をさえぎる障害物のない見晴らしの良い場所を、一定速度でしばらく走行してください。GPS衛星電波、自律航法、マップマッチング機能を使って、現在地の位置が補正されます。

アドバイス

- 現在地(自車)マークの位置／角度をご自分で修正することもできます。
- 現在地から目的地までのルート探索をする前には、必ず、実際の現在地を表示していることを確認してください。
- 現在地(自車)マークの位置や角度がまちがっている場合は、修正した後、ルート探索をしてください。
  「現在地(自車)の位置を設定する」F-27
  ※GPSを受信すると、受信した位置を表示します。

地図表示(方位)を切り替える

地図表示画面をワンタッチで切り替えることができます。
画面には、“進行方向を上”、“3Dビュー”、“北方向を上” の３種類があります。

地図画面の 方位 をタッチする。

：タッチするたびに方位表示と画面が切り替わります。

「進行方向を上」(平面地図)

進行方向が常に上になるようにして、自車マークと画面の向きを一致させることができます。走行に合わせて地図が回転します。

「3Dビュー」

進行方向は常に画面の上方向になります。

「北方向を上」(平面地図)

地図の動きが気になるときは、北方向を上に固定できます。

アドバイス

- 地図表示(方位)の切り替えはナビ設定からもできます。「地図画面の設定をする」F–2
- 平面地図とは真上から地上を見たときのように表した地図画面です。
- 3Dビューとは上空から地上を見たときのように表した地図画面です。

3Dビューについて

- 3Dビューのときは、地図のスクロールが遅くなることがあります。
- 進行方向は常に画面の上方向になります。
- 画面の手前と奥で、道路や地名などの表示内容が異なります。
- 画面表示が煩雑(複雑)にならないように、文字表示を間引きしているため、画面が変わったときに文字の表示内容が異なったり、同じ文字の表示が行なわれなかったりします。また、同一の地名、道路名を複数表示することもあります。
- 文字と建物がかさなり文字が見えにくくなる場合があります。

地図スクロール(地図を動かす)

停車中、見たい地域の方向に地図をタッチしてスクロールすることができます。

地図スクロール

例 平面地図画面で現在地の地図をスクロールする場合

1 画面をタッチする。

：画面にカーソル(−¦−)が表示されます。

2 地図をスクロールする。

■ 地図画面を低速でスクロールする場合

① 画面のカーソル(−¦−)近くを動かしたい方向に地図画面をタッチし続ける。

：低速でスクロールします。

■ 地図画面を高速でスクロールする場合

① 画面のカーソル(−¦−)から離れた位置を動かしたい方向にタッチし続ける。

：高速でスクロールします。

アドバイス

- 現在地に戻るときは、 現在地 を押すか 戻る をタッチします。
- 見たい場所を早く探すには広域な画面で目的地の周辺まで地図を移動させ、それから詳細な地図に変えて目的地を探します。
- 停車中は、地図をタッチし続けている間だけ移動します。
- 市街地図表示で走行中のときは、スクロールはできません。

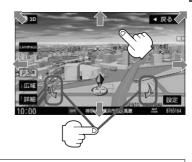
例 3Dビュー表示画面で地図を動かす場合

1 画面をタッチする。

：カーソル（-¦-）と↶／↷が表示されます。

2 動かしたい方向の地図画面、
または↶／↷をタッチする。

↶：カーソル（-¦-）を中心に右回転（時計まわり）
　します。

↷：カーソル（-¦-）を中心に左回転（反時計まわり）
　します。

アドバイス

- 地図はタッチした方向に動かすことができます。
- カーソル（-¦-）に近い部分をタッチすると低速で動き、カーソル（-¦-）より遠くなると高速で動きます。
- 3Dビュー表示画面で地図を動かした場合の自車マークは◆になります。

アドバイス

地図画面を平面地図画面↔3Dビューと切り替えるには☞「地図表示（方位）を切り替える」B-11をご覧ください。

微調整をする

微調整は平面地図画面のみ行なうことができます。

※3Dビュー画面の場合は、平面地図画面にしてください。

「地図表示(方位)を切り替える」B-11

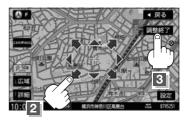
※走行中 微調整 は選択できません。

1 画面をタッチし、 微調整 をタッチする。

:画面に が表示されます。

2 動かしたい方向の矢印をタッチする。

:動かしたい方向に一定の速度でスクロールされます。

以外をタッチしてもスクロールはしません。
地図を微調整する場合は動かしたい方向の矢印をタッチしてください。

3 調整終了 をタッチする。

:スクロール画面に戻ります。

アドバイス

- 地図は矢印をタッチした方向に動かすことができます。
- 現在地に戻るときは、 現在地 を押すか 戻る をタッチします。

地図を拡大／縮小する

1 地図画面で、 広域 ／ 詳細 をタッチする。

ここをタッチすると選択したスケールで表示します。

縮尺スケール

広域 ：広域(縮小)表示します。
詳細 ：詳細(拡大)表示します。

アドバイス

- 右画面に地図を表示している場合、右画面の地図を拡大／縮小するには、右画面の 広域 ／ 詳細 をタッチして、同じように操作してください。☞ B–31
- 指定の縮尺の地図がないときは、“指定スケールの地図がありません。より広域の地図を表示します。”と表示し、選ばれた縮尺より広域な地図を表示します。
- 地図をフリーズームさせたいときは、 広域 ／ 詳細 をタッチし続けます。お好みの縮尺スケールになったらタッチするのを止めてください。止めたところの縮尺スケールで止まります。
- 市街地図データの収録エリアは、☞ I–22をご覧ください。
- 市街地図(5m／ 12m／ 25m／ 50m)から、ビルの中のテナント情報を見ることができます。施設(物件)にカーソルを合わせると、地図画面下にビル名が表示されます。 設定 をタッチし設定メニューを表示させ、 テナント情報 をタッチすると、テナント情報を見ることができます。(ビルの名前だけでなく、ビルの中のテナント名や階数、電話番号などの詳細情報を確認することができます。)
  ※データが収録されていない場合もあります。また、ビル名称のみ収録されている場合はテナント詳細情報を見ることはできません。
  ※電話番号が収録されている場合 電話する が表示されます。 電話する ➡ 発信 をタッチすると(携帯電話を2台登録している場合は、通話したい携帯電話(電話１／電話2)の 発信 をタッチしてください。)、発信中画面を表示し、相手につながると通話中画面になります。(この機能を使用するにはBluetooth対応の携帯電話を接続する必要があります。)☞ 別冊の日産オリジナルマルチシステム(詳細版) M–2
  携帯電話を接続していない場合、 電話する は選択できません。(ボタンは暗くなります。)

地図の縮尺スケール

※下記縮尺スケールは全画面(平面／3D)／２画面(左／右画面)表示共通です。

縮尺スケール				
	5m	100m	2.5km	100km
	12m	200m	5km	250km
	25m	500m	10km	
	50m／50m	1km	25km	

NAVI MENU画面について

操作できない項目は暗くなり、選択できません。

メニュー画面を表示させる

ナビゲーションの操作のほとんどは、メニューを使って行ないます。
本書では、パネルに配置しているボタンを ボタン 、画面に表示されるボタンを **ボタン** と表記して操作説明をしています。

メニュー を押す。

：NAVI MENU画面が表示されます。

各メニュー項目について

● メニュー ➡ **目的地** ☞ C–1

※ **Yahoo!サービス** はBluetooth対応の携帯電話接続時に使用できます。

● メニュー ➡ **ルート** ☞ D–1

● メニュー ➡ **情報** ☞ E–1

※ **ETC情報** は別売のETCユニットまたはDSRC車載器接続時に表示されます。
ビーコン は別売のVICS光・電波ビーコンユニット接続時に表示されます。
DSRC情報 は別売のDSRC車載器接続時に表示されます。

- メニュー ➡ ナビ設定 ☞ F-1

- メニュー ➡ システム設定 ☞ H-1

設定を終える

設定を終えるには下記操作を行ないます。

1 **戻る をタッチ、または 現在地 ／ メニュー を押す。**

：戻る をタッチすると、前の画面に戻ります。
現在地 を押すと、現在地画面に戻ります。
メニュー を押すと、メニュー画面に戻ります。

アドバイス

設定を変更するときに 決定 が表示される場合は 決定 をタッチして設定を保存してください。決定 をタッチしないで、現在地 ／ メニュー を押したり、戻る をタッチした場合は、設定を保存しないでそれぞれの画面に戻ります。

ページの戻し／送りについて

リストや情報画面などのページを送り／戻しすることができます。

1 **▲ または ▼ をタッチする。**

▲：ページを戻します。
▼：ページを送ります。

Quick機能について

操作できない項目は暗く
なり、選択できません。

本機では、主な操作を簡単にするため、Quick機能(Quick MENU／設定メニュー)を設けています。QuickMENUを表示させるには Quick (現在地表示時)、設定メニューを表示させるには 設定 (地図スクロール時)をタッチします。

Quick をタッチ(現在地表示時)

● **自宅**
自宅までのルートを探索します。「現在地から自宅までのルートを探索する」B-29
※この機能を使うにはあらかじめ自宅を登録しておく必要があります。「自宅を登録する」B-22

● **お気に入り地点**
登録地の中から1か所のみをお気に入り地点に登録することができます。また、現在地からお気に入り地点までのルート探索をします。「■お気に入り地点を登録／解除する場合」F-39

● **周辺施設**
現在地の周辺施設を検索することができます。また、ルートを引いている場合、ルート沿いや目的地付近の周辺施設を検索することができます。「周辺にある施設から地点を探す」C-19

● **再探索**
探索条件を変えて、再探索することができます。
「再探索をする」D-32
※ルート案内を停止している場合、このボタンは選択できません。(ボタンは暗くなります。)

● **案内ストップ** ／ **案内スタート**
タッチするたびに、ルート案内ストップ↔スタートが切り替わります。
「ルート案内をストップ／スタートする」D-25
※ルートが設定されていない場合、このボタンは選択できません。(ボタンは暗くなります。)

● **渋滞地点**
設定したルート上に渋滞／規制がある場合、渋滞／規制地点を表示して確認することができます。
「渋滞地点を確認する」D-21
※ルート案内停止中やVICS情報を受信していない場合は選択できません。

● **地点を登録**
地点の登録を行ないます。「地点を登録する」B-25

● **右画面表示**
右画面に地図／ルート情報／エコ運転診断／デュアルウィンドウ／ハイウェイモードを表示することができます。
※ハイウェイモードを表示する設定にしていても、ルートを引いていないと表示されません。
「右画面に地図／情報を表示する」B-31

● **エコ運転診断**
エコ運転診断の設定をすることができます。「エコ運転診断の設定をする」E-2

● **ユーザー切替**
ユーザーを切り替えることができます。「ユーザーカスタマイズの設定をする」H-31

アドバイス

よくお使いになる機能を現在地表示時のQuick MENUに変更することができます。
「Quick MENUの設定をする」B-21

設定 をタッチ(地図スクロール時)

● **目的地に設定する**

目的地を設定し、ルートを探索します。☞「現在地から目的地までのルートを探索する」B-28

※自動最速ルート探索が「する」の場合、「最速ルートで行く」と表示され、ルート探索後に、自動で交通情報を取得し、最速ルートを探索します。

※最速ルート探索を行なうには、別途カーウイングスサービスのお申込みが必要になります。
☞「カーウイングスについて」G-2

● **出発地に設定する** ＊

出発地を設定し、ルート探索します。☞「出発地／目的地の変更」D-12

● **経由地に設定する** ＊

経由地を設定し、ルート探索します。☞「経由地の追加」D-15／「経由地の変更／削除」D-17

● **複数探索**

複数ルート探索を行ないます。☞「複数ルートを探索する」D-9

● **テナント情報**

テナント情報(建物の名前だけでなく、建物の中のテナント名や階数、電話番号などの詳細情報)が確認できます。
☞B-15

※市街地図(5m／12m／25m／50m縮尺スケール)でテナント情報のある物件にカーソル(-¦-)をあわせます。

● **自宅に設定する** ＊

自宅を登録します。☞「自宅を登録する」B-22

● **地点を登録する**

地点の登録を行ないます。☞「地点を登録する」B-25

● **地点を編集する**

登録地の編集や並べ替え、削除ができます。☞「登録地の編集」F-35／「登録地の順番を並び替える」F-42／「自宅／お気に入り地点／登録地を削除する」F-46

※登録地マークにカーソル(-¦-)をあわせます。

● **カメラ地点を登録する**

カメラ地点を登録します。☞「カメラ地点を登録する」B-26
(システム設定 ➡ カメラ ➡ フロントサイドビューモニター 点灯時のみ)

● **カメラ地点を編集する**

登録済みのカメラ地点を編集します。☞「■カメラ登録地を編集する場合」F-40
(システム設定 ➡ カメラ ➡ フロントサイドビューモニター 点灯時のみ)

● **周辺の施設検索**

スクロール先の周辺施設を検索することができます。☞「周辺にある施設から地点を探す」C-19

● **施設の詳細**

スクロール先に施設の詳細がある場合に住所や電話番号などの詳細情報が確認できます。

＊印…地図をスクロールしなくても表示される場合もあります。

Quick MENUを表示する

1 **現在地表示時に Quick をタッチする。**

：設定した項目が表示されます。

※走行中操作できないボタンまたは利用できない場合は暗くなります。

アドバイス

Quick MENUについては「Quick機能について」B-18もあわせてご覧ください。

Quick MENUの設定をする

よく使う機能を10個までQuick MENUに設定することができます。

1 現在地表示時に Quick ➡ 設定 をタッチする。

：Quick MENU設定画面が表示されます。

2 右側の配置イメージより配置したい場所を選んでタッチする。

現在設定されているメニューの配置イメージが表示されています。

3 左側のメニュー候補より設定したい項目を選んでタッチする。

4 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 を押す。

アドバイス

- 解除 をタッチすると設定されているQuick MENUを解除します。
- 全解除 をタッチすると設定されているQuick MENUを全て解除します。
- Quick MENUの設定をお買いあげ時の状態に戻す場合は 初期化 をタッチします。

Quick MENUに追加できる機能

1 自宅
2 お気に入り地点
3 電話番号検索（電話番号）
4 住所検索（住所）
5 登録地検索（登録地）
6 ジャンル検索（ジャンル）
7 目的地履歴検索（目的地履歴）
8 周辺施設検索（周辺施設）
9 再探索
10 案内スタート／ストップ
11 ルート編集
12 ルートの全表示
13 登録ルート
14 渋滞地点
15 渋滞予測回避
16 VICS文字情報
17 VICS図形情報
18 地点を登録
19 登録・履歴消去
20 エコ運転診断
21 右画面設定（右画面表示）
22 音声案内
23 ETC情報
24 ユーザー切替
25 カメラ地点を登録（カメラ地点登録）
26 携帯電話登録一覧
27 DSRC受信情報

（　　）内はQuick MENU表示時のボタン名

自宅を登録する

自宅を登録しておくと、自宅までのルートを探索することができます。

1

メニュー を押す。

2

目的地 ➡ 自宅 をタッチする。

：自宅を登録するメッセージが表示されます。

3

はい をタッチする。

：自宅登録方法画面が表示されます。

4

登録方法を選択し、タッチする。

自宅登録方法画面

- 電話番号 ☞ C–3
- 住所 ☞ C–5
- 登録地 ☞ C–8
- 目的地付近 ：目的地の地図を表示
- 名称50音 ☞ C–10
- Yahoo! サービス ☞ C–14
- 目的地履歴 ☞ C–17
- 周辺施設 ☞ C–19
- SD登録地 ☞ C–22
- マップコード ☞ C–24
- ジャンル ☞ C–25
- 出発地付近 ：出発地の地図を表示
- 地図 ：この画面に入る前の地図を表示
- 現在地付近 ：現在地の地図を表示
- 郵便番号 ☞ C–34
- 緯度経度 ☞ C–35

例 住所から自宅を探し登録する

① **住所** をタッチする。

② リストから画面にしたがって "都道府県名" "市区町村名" "町名" "丁目・字・街区・地番・戸番・枝番" を順次選びタッチしていく。

：自宅周辺の地図と設定メニューが表示されます。
（**地図** ／ **現在地付近** ／ **出発地付近** ／ **目的地付近** で探索した場合は、地図のみ表示されます。）

検索方法は☞「住所で地点を探す」C–5手順 **3** を参照。

リスト画面

地名の頭文字表示*

アドバイス

- リスト画面右のひらがなは地名の頭文字です。頭文字をタッチすると、該当する地名が表示され、効率よく地域を絞り込むことができます。（入力できない文字は暗くなります。）
  ＊印…頭文字をタッチするごとに選択している行のリストがくり返し表示されます。
- **地名部分入力** をタッチすると市町村名称検索画面が表示され、地名を入力して効率よく場所を絞り込むことができます。☞「■ 市町村名を入力して探す場合」C-7
- リスト画面右の数字をタッチすると、該当する住所が表示され、効率よく場所を絞り込むことができます。
- 入力した住所を訂正したい場合は、 **戻る** をタッチして、訂正したいリストまで戻してください。

5 自宅を登録する。

■ 表示された位置で良い場合

① **自宅に設定する** をタッチする。

■ 地図のみ表示された場合

① **設定** をタッチする。

：設定メニューが表示されます。

② **自宅に設定する** をタッチする。

■ 位置の修正やスケールの変更などをする場合

① 閉じる または地図画面をタッチする。

：設定メニューを閉じます。

② カーソル(−¦−)を自宅に合わせる。

③ 設定 をタッチする。

：設定メニューが表示されます。

④ 自宅に設定する をタッチする。

：自宅が登録され、自宅までのルート探索をするかメッセージが表示されます。する をタッチすると、現在地から自宅までのルート探索をします。 しない をタッチすると、地図が表示されます。

アドバイス

- 自動的にマークは になります。マークを変更したい場合は F-35を参照してください。
- 登録地の表示を しない 設定にしている場合は、自宅を登録しても地図上にマークは表示されません。
  「表示項目の設定をする」F-6
- 自宅を変更したい場合は登録した自宅を削除してから再登録してください。
  「自宅／お気に入り地点／登録地を削除する」F-46

地点を登録する

覚えておきたい場所に、マークをつけて登録することができます。(最大900か所・自宅を含む。)

1 地図をスクロールさせて、マークをつけたい場所にカーソル(-¦-)を合わせ、設定 をタッチする。

：設定メニューが表示されます。

最も詳細な地図を選んでおくと、位置の誤差が少なくなります。

微調整 ボタン

B-14

2 地点を登録する をタッチする。

："地点を登録しました。"とメッセージが表示され、地図上に地点マークが追加されます。

3 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 を押す。

アドバイス

- SDカードに保存している地点を本機に登録する場合は「SDカードから地点を登録する」F-48をご覧ください。
- 登録地は900か所まで本機に登録することができます。
- 地図画面をスクロールさせるには「地図スクロール(地図を動かす)」B-12をご覧ください。
- 地点を登録してルート探索した結果と、ジャンル検索でルート探索した結果が異なる場合があります。

B-26 カメラ地点を登録する

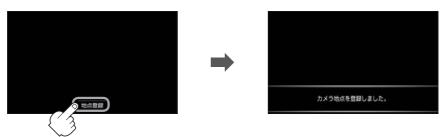
別売のフロントサイドビューモニター映像を自動で表示する地点を登録します。(最大100か所)
カメラ登録地を登録しておくと、狭い道や駐車場に進入する時に便利です。

1 カメラ地点として登録したい場所で、別売のフロントサイドビューモニターのスイッチをONにする。

※スイッチについては、別売のフロントサイドビューモニターの取扱説明書でご確認ください。

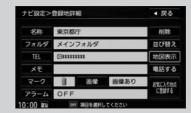
:カメラ映像が表示されます。

2 地点登録 をタッチする。

:"カメラ地点を登録しました。"とメッセージが表示され、カメラ地点が登録されます。

アドバイス

- カメラ地点を登録する は システム設定 ➡ カメラ ➡ フロントサイドビューモニター を選択して、表示灯を点灯させると表示することができます。
- カメラ映像は別売のフロントサイドビューモニターを接続しないと表示されません。
- カメラ映像は、低速でカメラ登録地に近づいた時に、自動で替わります。
- 登録したカメラ登録地のマークは で表示されます。
- カメラ登録地マークの表示は、50m以下の縮尺スケール表示時に表示されます。
- カメラ地点は、登録したい場所まで地図をスクロールさせて 設定 ➡ カメラ地点を登録する をタッチして登録する方法と、目的地検索(C-1)で登録したい場所を表示させて カメラ地点を登録する をタッチして登録する方法もあります。
- カメラ登録地は立体駐車場などで階を指定して登録することはできませんので、カメラ映像切替えが正しく動作しない場合があります。
- 立体駐車場内等でカメラ地点を登録し、その地点の上下階を通過した場合カメラに切り替わることがあります。
- GPSの受信状況などにより、地図上で正しくマッチングしていないとき、マッチングしていない道路上にカメラ登録地がある場合カメラに切り替わることがあります。
- 隣接(おおよそ50m)したカメラ登録地では、カメラ映像が表示されない場合があります。カメラ登録地が表示されない場合は、カメラスイッチを押して表示してください。

登録地／カメラ登録地について

登録地の名称、フォルダ、マーク、アラームの変更や、TEL(電話番号)、メモを登録することもできます。また、登録地に画像を登録して地図上に表示することができます。
☞「登録地の編集」F-35

登録地の地図を呼び出すことができます。
登録地の表示は全表示とフォルダ表示の２種類の表示方法があります。
☞「登録地で地点を探す」C-8
また、☞「自宅／お気に入り地点／登録地の地図を呼び出す」F-44でも呼び出せます。

登録地の地図は、ルート設定で出発地／経由地／目的地を設定するときに、すばやく設定できます。
☞「ルート設定の流れ」D-4

経由地設定時

地図上の登録地／カメラ登録地マークの表示を止めることができます。
☞「表示項目の設定をする」F-6

自宅を登録しておくと、自宅までのルート探索(現在地から自宅までのルートを探索する)ができます。
☞「Quick 機能について」B-18
☞「現在地から自宅までのルートを探索する」B-29

よく行く地点をお気に入り地点に登録して、ルート探索することができます。
☞「Quick 機能について」B-18

B-28 クイック ルート探索をする

現在地から目的地までのルートを探索し、地図上に表示します。また、自宅が登録してある場合は、現在地から自宅までの帰り道を探索できます。

現在地から目的地までのルートを探索する

1 画面をタッチして地図をスクロールさせ、目的地の地図を表示する。

「地図スクロール(地図を動かす)」B–12／「地図を拡大／縮小する」B–15

2 カーソル(−¦−)を目的地に合わせ、 設定 をタッチして設定メニューを表示させ、 目的地に設定する をタッチする。

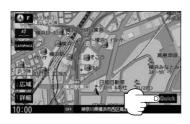
最も詳細な地図を選んでおくと、位置の誤差が少なくなります。

微調整 ボタン
B–14

：参考ルートの探索を始めます。探索完了後ルート全表示画面になります。
案内スタート をタッチすると、ルート案内を開始します。
「ルート設定の流れ」D–4

有料道路上に設定するかどうか確認メッセージがでたときは、有料道路(高速道路、都市高速道路を含む)上に設定する場合は 有料道路 を、一般道路上に設定する場合は 一般道路 をタッチしてください。

現在地から自宅までのルートを探索する

1 現在地表示中に Quick をタッチしてQuick MENUを表示させ、
自宅 をタッチする。

：ルートの探索を始めます。探索完了後ルート全表示画面になります。
案内スタート をタッチすると、ルート案内を開始します。
「ルート設定の流れ」D–4

※すでに探索されているルートがある場合、ルートを削除するかどうかのメッセージが表示されるので はい を選択するとルート探索を開始します。

アドバイス

- ✱ (オプション)に"自宅"機能を設定している場合は、✱ (オプション)を押すと自宅までのルート探索をします。
  「オプションボタンの設定をする」H–2
- 自宅までのルート探索をするには、あらかじめ自宅を登録しておく必要があります。自宅が登録されていない場合、上記手順 1 で自宅を登録するかどうかメッセージが表示され、はい を選択すると自宅登録方法画面が表示されるので、自宅を登録してください。
  「自宅を登録する」B–22
- 新たにルート探索すると、前回探索したルートは消えます。
- ルートは必ずしも、最短ルートが選ばれるわけではありません。
- Quick ／ 設定 (Quick MENU)の詳しい内容は「Quick機能について」B–18をご覧ください。

⚠注意 交通規制の変更などにより、実際には探索したルートが通れない場合があります。
この場合は、実際の交通規制にしたがって走行してください。

目的地を設定してルート探索をする

目的地を検索して、ルートを探索することができます。

1

メニュー を押す。

：NAVI MENU画面が表示されます。

2

目的地 をタッチする。

：目的地MENU画面が表示されます。

3

検索方法を選択する。

☞検索方法につきましてはC-1～C-35をご覧ください。

4

目的地に設定する をタッチする。

：ルートの探索を始めます。探索完了後、
ルート全表示画面になります。

※設定MENU画面が表示されていない場合は、
設定 をタッチして表示させてください。

5

案内スタート をタッチする。

：ルート案内を開始します。

右画面に地図／情報を表示する

現在地表示時、画面を２つに分けて、右側に縮尺スケールの異なる地図やルート情報／ハイウェイモード／エコ運転診断の情報画面／デュアルウインドウを表示させせることができます。

現在地表示時に、 Quick ➡ 右画面表示 をタッチする。

：右画面表示画面が表示されます。

2

表示項目（ 地図 ／ ルート情報 ／ ハイウェイモード ／ エコ運転診断 ／ デュアルウィンドウ ）を選択しタッチする。

■ 右画面に地図を表示する場合

① 地図 をタッチする。

：地図が２画面で表示されます。

アドバイス

- 右画面が表示されるまで、少し時間がかかることがあります。
- 左画面は、全画面表示のときと同じ方法で、地図の表示内容の設定や縮尺の変更ができます。
- シミュレーション走行中は右画面地図表示↔全画面表示の切り替えはできません。
- 右画面地図表示はナビ設定からも表示させせることができます。「地図画面の設定をする」F–2

右画面の方位／縮尺スケールを変える

右画面地図表示のとき、右画面の方位／縮尺スケールの設定を変えることができます。

方位 ボタン
B–11

広域 ボタン
詳細 ボタン
B–15

■ 右画面にルート情報を表示する場合

① **ルート情報** **をタッチする。**

：ルート案内中にルート情報が表示されます。

ルート情報画面

アドバイス

ルート情報表示はナビ設定からも表示させることができます。

「■ ルート情報の表示を設定する場合」F-12

■ ハイウェイモードを解除したい場合

① **ハイウェイモード** **をタッチする。**

：表示灯が、消灯しハイウェイモード(高速道路／一般有料道路の情報)を表示しない設定になります。

アドバイス

- ハイウェイモードはナビ設定からも変更することができます。
  「■ ハイウェイモードの表示を設定する場合」F-12
- 「■ 右画面にルート情報を表示する場合」(上記)で **ルート情報** を選択または、「■ ルート情報の表示を設定する場合」F-12でルート情報の表示" を **する** を選択すると高速道路／一般有料道路の情報も表示する設定になるため、 **ハイウェイモード** を選択できなくなります。
- ハイウェイモードを選択している場合、他の項目を選択していてもハイウェイモードを優先して表示します。
- ハイウェイモードを表示する設定にしていても、ルートを引いていないと表示されません。

＊1印…ルート情報／ハイウェイモード表示に経由地や各ポイントなどへの到着時間と距離を表示します。

■ 右画面にエコ運転診断を表示する場合

① **エコ運転診断** をタッチする。

：エコ運転診断が表示されます。

アドバイス

エコ運転診断表示は情報からも表示させることができます。

「エコ運転診断の設定をする」E–2

エコ運転診断

■ 右画面に映像画面を表示する場合

① **デュアルウィンドウ** をタッチする。

：右画面に映像画面が表示されます。

アドバイス

オーディオ画面表示は メニュー ➡ ナビ設定 ➡ 表示 ➡ 表示設定 ➡ ▼ 6回タッチ（"その他設定" を表示）➡ "デュアルウィンドウを表示" を する に設定して表示することもできます。

「表示項目の設定をする」F–6

全画面表示に戻す

1 B–31手順 **1** にしたがって操作し、手順 **2** のとき **OFF** をタッチする。

文字／数字の入力方法について

目的地を施設の名称や電話番号などで探すときや、登録地の編集などをするときに、文字や数字を入力します。

ひらがな／カタカナ／漢字／英数を入力する

■ ひらがなを入力する場合

① 文字をタッチして入力し、 無変換 ➡ 決定 をタッチする。

タッチするたびに
カナ → 英数 → かな と
切り替わります。
※用途に合わせて切り替えてください。

小文字に変換したい場合
小文字 をタッチする。（50音パレットが小文字*に変わる。）
＊印…選択可能な文字のみ
※ 小文字 ⟷ 大文字 をタッチするたびに、50音パレットが小文字または大文字に切り替わります。

アドバイス

上記の説明は登録地編集（☞ F-35）をする場合の編集画面です。目的地検索でひらがな入力をする場合、表示されるボタンが異なります。

■ 漢字を入力する場合

ひらがなを漢字に変換します。

① 文字をタッチして入力し、 変換 をタッチする。

：変換候補画面が表示されます。

アドバイス

- 漢字変換しない場合は 無変換 をタッチしてください。
- ← ／ → をタッチして変換する文字の範囲を選択することができます。
- をタッチすると１文字分のスペースを空けることができます。
- 目的地検索では漢字を入力することはできません。

② 変換したい漢字をタッチし、 決定 をタッチする。

■ カタカナ／英数を入力する場合

① カナ ／ 英数 をタッチする。

：50音パレットがカタカナ／英数表示になります。

② 文字をタッチして入力し、 決定 をタッチする。

小文字に変換したい場合
小文字 をタッチする。(50音パレットが小文字*に変わる。)
＊印…選択可能な文字のみ
※ 小文字 ⟷ 大文字 をタッチするたびに、50音パレットが小文字または大文字に切り替わります。

タッチするたびに
カナ → 英数 → かな と
切り替わります。
※用途に合わせて切り替えてください。

数字を入力する

1 数字をタッチして入力する。

アドバイス

設定を変更するときに 決定 が表示される場合は 決定 をタッチして設定を保存してください。 決定 をタッチしないで、 現在地 ／ メニュー を押したり、 戻る をタッチした場合は、設定を保存しないでそれぞれの画面に戻ります。

文字／数字を訂正する

■ 最後の文字を訂正する場合

① **訂正** をタッチする。

■ 全ての文字を訂正する場合

① **訂正** を長めにタッチする。

■ 途中の文字を訂正する場合

① **←** ／ **→** をタッチし、訂正したい場所へカーソルを移動する。

② **訂正** をタッチする。